

研究課題名:

薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究

研究の目的と方法:

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)は院内感染の原因となる代表的な薬剤耐性菌の一つで、治療・感染予防・検査法を向上させるには、CREの遺伝子情報の把握が重要です。現在、北海道立衛生研究所では、感染症法に基づいた病原体サーベイランス(行政検査)としてPCR法によるCREの遺伝子検査を実施していますが、PCR法では得られる遺伝子情報は限定的です。そこで、この研究では、国立感染症研究所を中心にして、CREの全ゲノム解析を行うことで、日本国内で発生したCREの特徴を遺伝子レベルで詳細に明らかにすることを目指します。そして、得られた遺伝子情報を基に、より有効な対策の実施につなげることを目指します。

研究の対象者及び対象期間:

令和6年(2024年)3月31日の研究終了以前に、感染症法に基づいた病原体サーベイランス(行政検査)のために、保健所を通じて北海道立衛生研究所に搬入され、遺伝子検査を実施した菌株を研究対象とします。したがって、これらの菌株が分離された患者様が対象者となります。

研究に利用する試料・情報:

感染症法に基づいた病原体サーベイランス(行政検査)のために北海道立衛生研究所に提供された菌株を用います。

菌株が分離された患者様に関する情報は、感染症法に基づいた感染症発生動向調査の届出事項を解析に用います。感染症発生動向調査の届出事項には、個人の特定につながる情報が含まれておりません。また、届出事項以外の患者情報を利用する場合は、個人を特定できない形で解析に用います。したがって、対象となる患者様の不利益にはなりません。

研究機関:

北海道立衛生研究所、国立感染症研究所

試料・情報の管理について責任を有する者:

試料の管理: 感染症部細菌グループ 主査(細菌感染症) 小川恵子

情報の管理: 感染症部細菌グループ 主査(細菌感染症) 小川恵子

利益相反について:

本研究に関連し、開示すべき利益相反状態にある企業等はありません。

お問い合わせ先:

北海道立衛生研究所

感染症部細菌グループ 主査(細菌感染症)

小川恵子

〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西12丁目

TEL:011-747-2711 FAX:011-737-9476